

情報教育研究委員会「情報教育高大接続分科会」報告
高校教員の教育指導力及び情報活用力の促進支援の可能性について

平成28年3月25日
第15回臨時総会

情報科を担当する高校教員及び他教科担当教員の教育指導力及び情報活用力の向上を促進支援するために、大学教員有志による教材の提供を通じて教育内容の豊富化・充実化に向けた「情報科用動画コンテンツ」提供による支援の可能性を情報教育高大接続分科会で研究を進めた。

分科会では、高校教員向けに情報科担当教員が比較的不得手とする「情報の科学」で扱うプログラミングやデータ活用の動画コンテンツなどを大学教員有志で作成・提供することにより高校教員の指導力支援に貢献できるのではないかと考え、参考となると思われるコンテンツの一部を試験的に作成して支援の必要性について非公式に関東地域11名の高校教員意見を伺うことにした。

その結果、既に教材コンテンツはインターネット上に多々あるので本協会が取り組むほどの意義は見当たらないのではないかと考え、高校教員からの要望としては、大学における情報教育の内容を大学教員が分かりやすくすることと、高校の情報教育の内容を大学教員が理解し、高校教員と連携して必要性・重要性を社会に広く発信していただきたい。また教材よりも情報倫理に関する話題などを直接生徒に分かりやすく説明するとか、情報に関する最新の研究状況を紹介するなどの意見があった。

以上の意見を踏まえて本分科会では、大学教員による教材提供の支援を全国的に展開する計画をイメージしていたが積極的なニーズがないと判断し教材支援の研究を終了することにした。また、大学教員による出前授業や研究過程の紹介などの意見については、現在検討が進められている「社会と情報」「情報の科学」を統合する新学習指導要領の動向を見極める必要があること及び本協会の情報リテラシー・情報倫理分科会で検討をすすめている情報及び情報通信技術を活用した問題発見・解決及び価値創出の思考プロセスを教育モデルとしてとりまとめることを優先するため、当面本報告をもって本分科会の活動を休止することにした。

